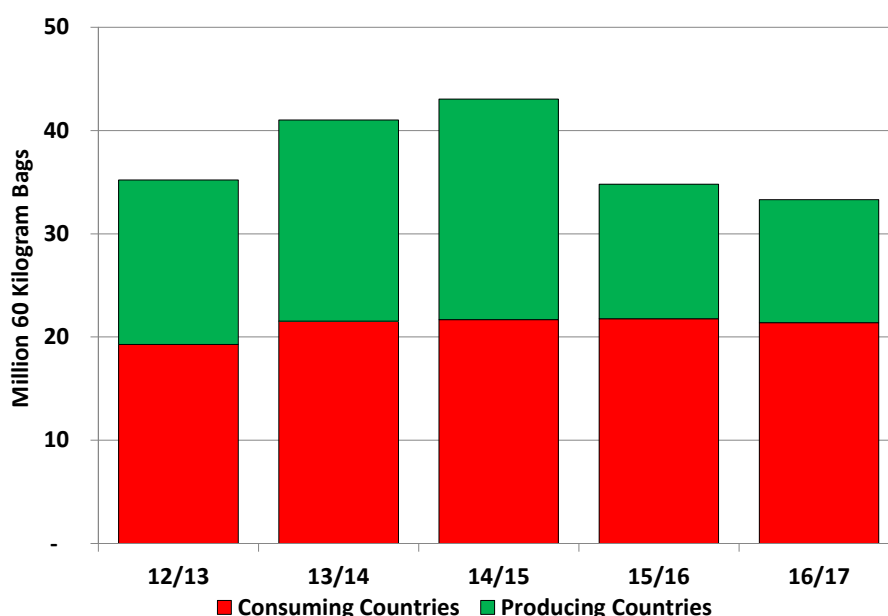


今月は12月16日に発表された米国農務省のコーヒーレポート邦訳と、FNCのホームページからトピックス（１）としてカスティージョ種の話と、（２）としてコロンビア視察団のブラジル訪問の話と、更にNCAホームページから（３）として高齢化に伴う認知機能に与えるコーヒーの影響の話をお届けします。

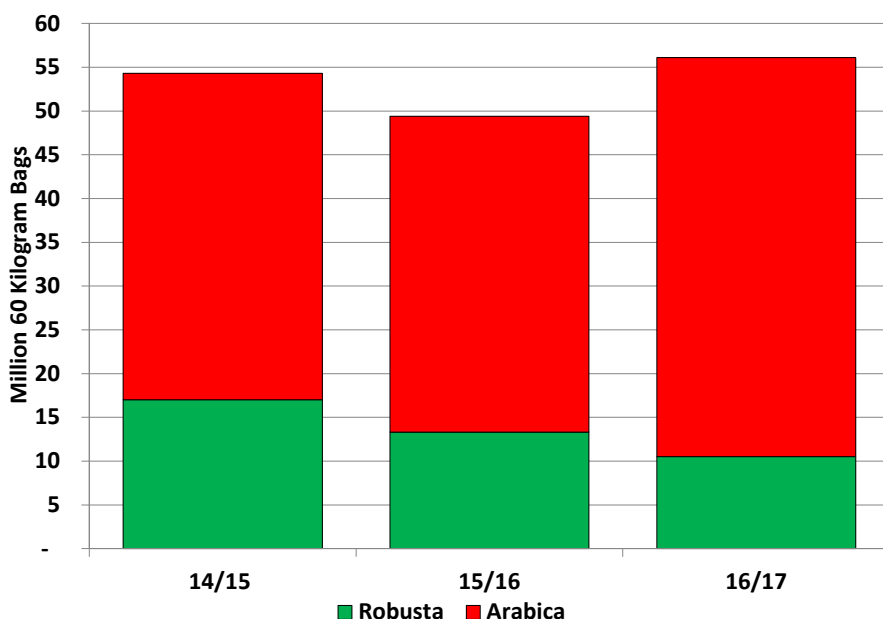
2016/17年度世界コーヒー生産量は前年度対比3.7百万袋多い156.6百万袋（60 k g）となったが、これはブラジルの歴史的なアラビカコーヒーの豊作が、同国及びベトナム、インドネシアのロブスタコーヒーの減産を上回るためである。世界の消費量は153.3百万袋の新記録となり、結果として世界在庫量は、特に生産国の在庫量が減少し5年間で最少となるだろう。在庫量の減少を反映し2016年11月のICO複合指標価格は、今年1月に比べ31%上昇し米ドル1.46/ポンドとなった。世界のコーヒー輸出量は輸出記録を更新した前年に比べ減少すると考えられるが、これは主にベトナム、インドネシア、ブラジルの輸出量が減少することによるものである。

ブラジルのアラビカコーヒー生産量は生産性が向上し9.5百万袋多い45.6百万袋を記録することになるだろう。ブラジルアラビカコーヒー生産量の80%を占めるミナスジェライス州とサンパウロ州の2015年9月～11月の開花が良好でその後の結実期の気象条件も理想的なものだったことによるものである。しかし、ロブスタコーヒーの生産量は、同国のロブスタの大半を生産するエスピリトサント州の気温が高く干ばつが長引いたことから、前年度より更に2.8百万袋減り、この10年間で最少となる10.5百万袋に落ちるだろう。灌漑用水不足が続き、十分な手入れが出来なかったことが主要因である。

生産国の期末在庫は引き続き少なくなっている



ブラジルのアラビカ生産量は記録更新, ロブスタは引き続き減産



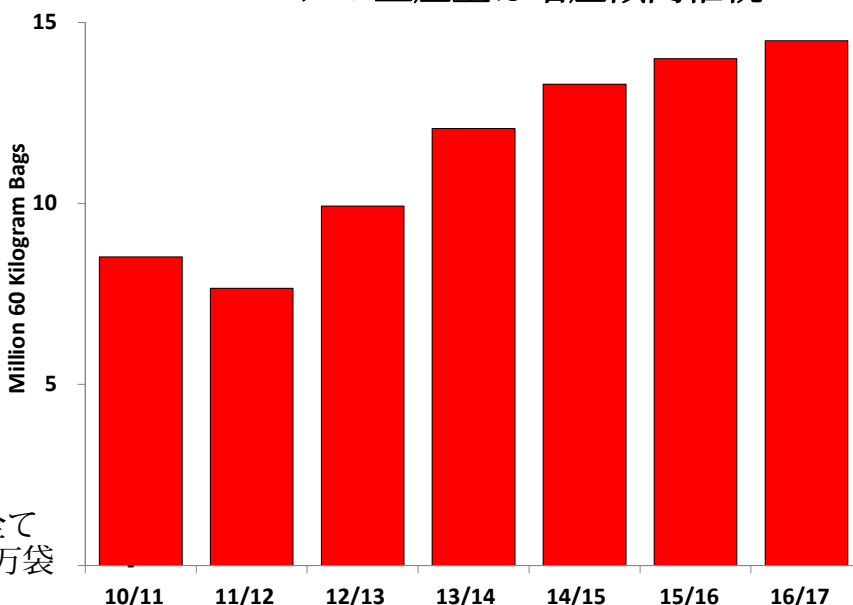
しかし、アラビカとロブスタの総生産量は6.7百万袋多い56.1百万袋になる見通しで、前年度からの国内在庫の減少を考慮すると同国のコーヒー総供給量は前年とほぼ同じと予想される。輸出量が900000減り31.0百万袋だったので、期末在庫は若干増加すると思われる。

ベトナムの生産量は、2016年1月～4月の高温・干ばつの為生産性が悪く2.2百万袋減り26.7百万袋となった。耕作面積は前年度とほぼ同じで、生産量の95%以上はロブスタである。期末在庫は在庫が積み増された前年から2年連続して減少することになるだろう。生豆の輸出量は3.5百万袋減り23.5百万袋の予想である。

コロンビアのアラビカコーヒー生産量は、数年前に始まった同国農園更新プログラム及び順調な気候のお陰で増産傾向が継続し500000袋増え14.5百万袋になる予想である。しかし生産者の中には労働不足の為畑の管理が行き届かずコーヒーチェリーボラーのような害虫に悩まされるところもあるようだ。主要輸出先の米国・欧州向け生豆輸出は800000袋増え12.2百万袋になる予想である。

インドネシアの生産量はほとんど全ての生産地域の干ばつの影響で2.1百万袋減り10.1百万袋の予想である。

コロンビアの生産量は増産傾向継続



干ばつが開花及び結実を妨げたようで、特にロブスタコーヒーの75%を生産する南スマトラとジャバの低地に於ける被害は深刻である。しかし、北スマトラで生産されるアラビカコーヒーに影響はなかったようである。生豆輸出量は、コーヒー可能供給量が減ることにより1.4百万袋減少し6.5百万袋になる見通しである。

世界のアラビカコーヒーの15%を占める中米・メキシコ地域に於いては、殆どの国のコーヒー生産量には未だサビ病の影響が残っているようである。この地域の全生産量は前年度対比ほぼ600000袋増え15.4百万袋の予想だが、この数字は5年前の記録に比べるとまだ20%低い水準である。メキシコは、サビ病の為1.2百万袋減産となった昨年度から200000袋増え2.2百万袋になる予想である。ホンジュラスは100000袋増えサビ病前の水準より僅かに低い水準の、5.5百万袋の予想である。ニカラグアは開花期の好天及び最近更新された耕作地からの収穫も加わり、100000袋増え、2.2百万袋の予想である。コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラはほぼ横ばいで夫々、1.4百万袋、575000袋、3.4百万袋の予想で、これらの国はサビ病被害の影響が残り未だ被害前の水準には回復していない。この地域の生豆輸出量は主にホンジュラスの輸出可能数量増加のお陰で300000袋増え13.1百万袋の予想である。この地域の輸出の約40%は、米国向けであり、三分の一はEU向けとなっている。

EUのコーヒー輸入量は世界全体の40%を超えるが、300000袋減り45.5百万袋になる見通しである。輸入オリジンとしては、ブラジル（33%）、ベトナム（25%）、ホンジュラス（7%）、コロンビア（7%）の順である。消費量は300000増え44.4百万袋となり期末在庫は若干減り11.9百万袋の予想である。

米国は第2の輸入国だが、輸入量は300000袋減り24.8百万袋の予想である。輸入オリジンは、ブラジル（27%）、コロンビア（20%）、ベトナム（16%）の順である。消費量は200000袋近く増え25.3百万袋の予想で、期末在庫は若干減り6.0百万袋の見通しである。

2015/16年度の修正

世界の生産量は6月予想に比べ300000袋下方修正し153.0百万袋とする。

- ウガンダは生産性が予想より下がった為、900000袋下方修正し3.7百万袋とする。
- メキシコはサビ病のため、500000袋下方修正し2.0百万袋とする。
- マレーシアはロブスタ耕作面積の増加及び生産性向上の為700000袋上方修正し2.2百万袋とする。

世界の生豆輸出量は200000袋下方修正し112.6百万袋とする。

- ブラジルは欧米向け輸出減少のため、900000袋下方修正し31.9百万袋とする。
- ウガンダは供給可能量の減少から、500000袋下方修正し3.5百万袋とする。
- ベトナムはコーヒー価格の上昇が在庫売りを誘発し輸出が増えた為1百万袋上方修正し27.0百万袋とする

世界の期末在庫は600000袋下方修正し34.8百万袋とする。

- ベトナムは予想を上回る船積みがあり1.8百万袋下方修正し3.8百万袋とする。
- ブラジルは主要市場向け輸出減少の為500000袋近く上方修正し2.7百万袋とする。

生産国のコーヒー収穫年度

April-March

Angola
Bolivia
Burundi
Ecuador
Indonesia
Madagascar
Papua New Guinea
Peru
Rwanda

July-June

Brazil
Cuba
Dominican Republic
Haiti
Philippines
Tanzania

October-September

Cameroon
Central African Republic
Colombia
Congo (Kinshasa)
Costa Rica
Cote d'Ivoire
El Salvador
Ethiopia
Ghana
Guatemala
Guinea
Honduras
India
Jamaica
Kenya
Laos
Liberia
Malawi
Malaysia
Mexico
Nicaragua
Nigeria
Panama
Sierra Leone
Thailand
Togo
Uganda
United States
Venezuela
Vietnam
Yemen

非生産国のコーヒー年度は10月～9月である

コーヒー総括（１）

60-キログラム袋

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	Jun 2016/17	Dec 2016/17
アラビカ生産量						
Brazil	42,100	41,800	37,300	36,100	43,850	45,600
Colombia	9,927	12,075	13,300	14,000	13,300	14,500
Ethiopia	6,500	6,345	6,475	6,500	6,500	6,500
Honduras	4,725	4,400	5,100	5,300	6,100	5,500
Peru	4,300	4,250	2,900	3,500	3,800	3,800
Guatemala	4,000	3,500	3,125	3,275	3,300	3,300
China	1,535	1,947	2,200	2,300	2,300	2,500
Nicaragua	1,925	2,000	2,100	2,100	2,100	2,200
Mexico	4,450	3,750	2,980	1,800	2,100	2,000
India	1,643	1,703	1,630	1,725	1,420	1,420
Costa Rica	1,675	1,450	1,400	1,400	1,400	1,400
Indonesia	2,000	1,900	1,270	1,500	1,300	1,400
Vietnam	900	1,175	1,050	1,100	1,050	1,100
Kenya	660	850	750	750	700	800
Papua New Guinea	775	815	760	700	700	700
Other	5,757	4,630	4,498	4,401	4,146	4,165
合計	92,872	92,590	86,838	86,451	94,066	96,885
ロブスタ生産量						
Vietnam	25,600	28,658	26,350	27,830	26,225	25,600
Brazil	15,500	15,400	17,000	13,300	12,100	10,500
Indonesia	9,900	10,000	9,200	10,600	8,700	8,600
India	3,660	3,372	3,810	4,075	3,750	3,750
Uganda	2,800	3,000	2,800	2,900	3,000	3,000
Malaysia	1,400	1,500	2,100	2,200	1,500	2,000
Cote d'Ivoire	1,750	1,675	1,400	1,600	1,700	1,800
Thailand	1,000	1,000	1,000	700	1,000	1,000
Cameroon	485	375	525	525	575	575
Laos	460	475	475	475	550	500
Other	2,591	2,133	2,547	2,290	2,531	2,426
合計	65,146	67,588	67,207	66,495	61,631	59,751
全生産量						
Brazil	57,600	57,200	54,300	49,400	55,950	56,100
Vietnam	26,500	29,833	27,400	28,930	27,275	26,700
Colombia	9,927	12,075	13,300	14,000	13,300	14,500
Indonesia	11,900	11,900	10,470	12,100	10,000	10,000
Ethiopia	6,500	6,345	6,475	6,500	6,500	6,500
Honduras	4,725	4,400	5,100	5,300	6,100	5,500
India	5,303	5,075	5,440	5,800	5,170	5,170
Peru	4,300	4,250	2,900	3,500	3,800	3,800
Uganda	3,600	3,850	3,550	3,650	3,700	3,700
Guatemala	4,010	3,515	3,185	3,350	3,375	3,375
China	1,535	1,947	2,200	2,300	2,300	2,500
Nicaragua	1,925	2,000	2,125	2,125	2,125	2,225
Mexico	4,650	3,950	3,180	2,000	2,300	2,200
Malaysia	1,400	1,500	2,100	2,200	1,500	2,000
Cote d'Ivoire	1,750	1,675	1,400	1,600	1,700	1,800
Costa Rica	1,675	1,450	1,400	1,400	1,400	1,400
Tanzania	1,180	800	1,150	1,100	1,050	1,050
Thailand	1,000	1,000	1,000	700	1,000	1,000
Kenya	660	850	750	750	700	800
Papua New Guinea	825	855	810	750	750	750
Cameroon	535	425	575	575	625	625
El Salvador	1,250	550	700	540	525	575
Laos	460	475	475	475	550	500
Philippines	455	450	475	425	475	475
Dominican Republic	475	450	425	400	400	400
Other	3,878	3,358	3,160	3,076	3,127	2,991
合計	158,018	160,178	154,045	152,946	155,697	156,636

コーヒー総括（２）

60-キログラム袋

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	Jun 2016/17	Dec 2016/17
コーヒー生豆輸入						
European Union	45,070	44,650	45,140	45,815	44,500	45,500
United States	23,360	24,550	23,525	25,100	24,550	24,800
Japan	7,520	6,890	7,150	7,240	7,375	7,300
Canada	2,330	2,525	2,450	2,800	2,600	2,800
Switzerland	2,310	2,300	2,420	2,460	2,500	2,500
Russia	2,050	2,280	2,240	2,430	2,300	2,400
Korea, South	1,715	2,035	2,150	2,280	2,275	2,310
Algeria	1,915	2,265	2,165	2,200	2,250	2,250
Mexico	850	1,360	1,440	2,175	1,600	1,900
Malaysia	1,375	1,270	1,340	1,415	2,100	1,500
Other	13,582	12,510	12,447	12,588	12,235	12,470
合計	102,077	102,635	102,467	106,503	104,285	105,730
レギュラーコーヒー輸入						
Canada	675	730	765	375	600	500
China	79	93	141	460	300	500
Russia	180	215	260	315	275	325
Ukraine	340	340	275	250	250	250
Korea, South	110	125	155	185	175	190
Australia	170	180	190	155	200	175
Norway	110	110	120	130	120	125
Japan	135	140	110	105	125	115
Indonesia	150	175	175	100	0	100
Taiwan	55	50	70	95	75	90
Other	182	231	278	300	304	309
合計	2,186	2,389	2,539	2,470	2,424	2,679
インスタントコーヒー輸入						
Philippines	3,400	2,985	3,570	5,500	4,000	5,000
Russia	1,900	1,735	1,550	1,650	1,800	1,700
China	552	679	858	1,615	1,500	1,500
Canada	1,225	1,350	1,280	1,370	1,200	1,300
Japan	750	840	815	810	825	825
Indonesia	630	555	720	650	700	700
United States	340	365	480	110	450	450
Ukraine	785	690	570	470	400	400
Argentina	260	260	250	265	250	250
South Africa	210	220	250	250	250	250
Other	2,200	2,318	2,020	2,291	2,181	2,156
合計	12,252	11,997	12,363	14,981	13,556	14,531
輸入量						
European Union	45,070	44,650	45,140	45,815	44,500	45,500
United States	23,700	24,915	24,005	25,210	25,000	25,250
Japan	8,405	7,870	8,075	8,155	8,325	8,240
Philippines	3,880	3,145	3,755	6,085	4,300	5,300
Canada	4,230	4,605	4,495	4,545	4,400	4,600
Russia	4,130	4,230	4,050	4,395	4,375	4,425
China	1,561	1,682	1,889	2,938	2,750	2,850
Korea, South	1,825	2,160	2,305	2,465	2,450	2,500
Switzerland	2,310	2,300	2,420	2,460	2,500	2,500
Algeria	1,945	2,300	2,195	2,230	2,280	2,280
Other	19,459	19,164	19,040	19,656	19,385	19,495
合計	116,515	117,021	117,369	123,954	120,265	122,940

レギュラーコーヒーの生豆換算率は 1.19 であり、 インスタントコーヒーの生豆換算率は 2.6。コーヒー非生産国については二重勘定を避けるため輸入と再輸出の差（純輸入）を計上している。

コーヒー総括（３）

60-キログラム袋

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	Jun 2016/17	Dec 2016/17
コーヒー生豆輸出						
Brazil	27,143	30,600	33,051	31,870	32,000	31,000
Vietnam	23,783	27,269	19,791	26,950	25,150	23,500
Colombia	8,100	10,300	11,615	11,400	11,500	12,200
Indonesia	8,290	8,540	6,770	7,940	6,100	6,500
Honduras	4,480	3,940	4,760	4,900	5,700	5,100
India	3,420	3,330	3,358	3,950	3,600	4,000
Peru	4,100	4,100	2,750	3,300	3,600	3,600
Uganda	3,575	3,600	3,400	3,500	4,000	3,600
Ethiopia	3,500	3,285	3,500	3,520	3,525	3,525
Guatemala	3,750	3,150	3,050	3,000	3,000	3,000
Other	14,852	11,889	11,688	12,299	11,720	12,620
合計	104,993	110,003	103,733	112,629	109,895	108,645
レギュラーコーヒー輸出						
European Union	1,070	1,185	1,220	1,260	1,000	1,000
Switzerland	810	890	975	1,040	950	1,000
Vietnam	110	120	457	550	550	550
United States	365	580	390	60	200	200
Mexico	126	105	175	200	125	150
Colombia	85	80	90	90	90	90
China	54	81	57	57	250	75
Panama	15	29	42	41	45	45
Indonesia	35	40	50	40	40	40
Brazil	31	30	28	28	30	30
Other	29	80	46	30	40	40
合計	2,730	3,220	3,530	3,396	3,320	3,220
インスタントコーヒー輸出						
Brazil	3,486	3,516	3,494	3,645	3,200	3,200
Malaysia	2,150	2,110	2,775	2,975	3,000	2,800
Vietnam	750	900	1,282	2,000	1,500	2,000
India	1,435	1,667	1,525	1,650	1,500	1,575
Thailand	1,700	2,100	1,975	950	1,500	1,500
Indonesia	2,000	1,800	1,900	1,920	1,800	1,300
Mexico	915	940	860	850	600	850
Colombia	670	660	715	800	800	825
China	178	252	440	632	700	650
Ecuador	1,075	810	760	740	500	500
Other	765	898	660	929	740	740
合計	15,124	15,653	16,386	17,091	15,840	15,940
輸出						
Brazil	30,660	34,146	36,573	35,543	35,230	34,230
Vietnam	24,643	28,289	21,530	29,500	27,200	26,050
Colombia	8,855	11,040	12,420	12,290	12,390	13,115
Indonesia	10,325	10,380	8,720	9,900	7,940	7,840
India	4,858	5,013	4,894	5,605	5,105	5,580
Honduras	4,480	3,940	4,760	4,900	5,700	5,100
Peru	4,100	4,100	2,750	3,300	3,600	3,600
Uganda	3,575	3,600	3,400	3,500	4,000	3,600
Ethiopia	3,500	3,285	3,500	3,520	3,525	3,525
Guatemala	3,770	3,175	3,070	3,004	3,010	3,010
Other	24,081	21,908	22,032	22,054	21,355	22,155
合計	122,847	128,876	123,649	133,116	129,055	127,805

レギュラーコーヒーの生豆換算率は 1.19 であり、 インスタントコーヒーの生豆換算率は 2.6。 コーヒー非生産国については二重勘定を避けるため輸入と再輸出の差（純輸入）を計上している。

コーヒー総括（４）

60-キログラム袋

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	Jun 2016/17	Dec 2016/17
国内消費						
European Union	43,275	41,475	43,870	44,115	43,900	44,400
United States	23,027	23,811	23,568	25,114	25,150	25,299
Brazil	20,110	20,210	20,420	20,510	20,520	20,510
Japan	7,565	7,750	7,825	8,020	8,325	8,225
Philippines	4,405	3,590	4,230	6,110	4,775	5,875
Canada	4,230	4,605	4,495	4,545	4,400	4,600
Russia	4,130	4,230	4,050	4,395	4,375	4,425
Indonesia	2,815	2,540	2,900	3,230	3,110	3,370
China	1,628	2,181	2,416	3,006	3,000	3,125
Ethiopia	3,130	3,120	2,985	2,972	2,975	2,975
Vietnam	1,825	2,008	2,217	2,600	2,868	2,870
Korea, South	1,825	2,160	2,305	2,465	2,450	2,500
Algeria	1,945	2,300	2,195	2,230	2,280	2,280
Mexico	2,170	2,731	2,339	2,150	2,350	2,150
Australia	1,660	1,615	1,775	1,785	1,800	1,850
Colombia	1,200	1,300	1,400	1,515	1,475	1,600
Switzerland	1,500	1,410	1,445	1,420	1,550	1,500
India	1,100	1,170	1,191	1,368	1,400	1,400
Venezuela	1,290	1,170	1,151	1,151	1,031	1,031
Ukraine	1,255	1,155	1,025	945	825	850
Norway	740	775	775	785	775	780
Argentina	835	685	710	741	785	760
Turkey	490	505	675	710	750	740
Malaysia	625	660	665	640	600	700
Serbia	740	790	605	645	650	650
Other	8,624	8,588	8,513	8,855	8,687	8,790
合計	142,139	142,534	145,745	152,022	150,806	153,255
期末在庫						
European Union	10,845	12,400	12,225	12,100	11,800	11,900
United States	5,450	6,025	6,117	6,199	5,800	6,000
Brazil	9,068	11,946	9,305	2,717	2,530	4,142
Japan	2,980	3,100	3,350	3,485	3,400	3,500
Vietnam	1,946	2,130	6,373	3,833	3,500	2,253
India	1,982	2,026	2,586	2,591	1,997	1,854
Colombia	771	961	666	1,126	486	1,091
China	0	100	300	500	0	500
Honduras	140	300	340	415	560	465
Philippines	95	100	100	500	100	400
Other	1,943	1,921	1,667	1,325	1,326	1,202
Total	35,220	41,009	43,029	34,791	31,499	33,307

—トピックス（１）—

FNCのホームページからの抜粋記事の邦訳です。

カスティージョ種 (variedad Castillo) が最も高い価格、評価を受けた ボゴタ 2016 年 10 月 14 日 (FNC 広報)

2016 年度のコロンビアコーヒー特別展示会 (ExpoEspeciales Café de Colombia) で開催された第一回『多様な特性を持つ大地、コロンビア』コーヒー品質コンテストで最も高い評価を受けたのはカスティージョ種 (Castillo variety) だった。カスティージョ種はコロンビア農家の為に FNC の CENICAFE が開発した品種である。この品種が優勝したことでカスティージャ種のカップ品質がいかに高いかが証明された。

カスティージョ種の非常に優れたカップ品質特性はコンテストの後で開催されたオークションでの落札価格に反映された。即ち、トリマ州イバゲ市の Morro Azul 農園、Jose Anargel Rodriguez 氏が出品した 100%カスティージョ種のロットが優勝したが、このコーヒーは中国企業 Shanghai Mellower 社にオークション記録を更新する 50.5 米ドル/LB の高値で落札されたのである。

Rodriguez 氏が出品したコーヒーは、革新的かつ特別な試験規則 (innovative and unique protocol) に沿い国際審査員により審査されたが、そこで酸味 (acidity) 及び異国風味 (exoticness) 部門で優勝したものである。

クンディナマルカ州フサガスガ市のエル・ディアマンテ農園 Milher Urrego 氏の出品したコーヒーはオークションで 3 番目に高い 22.5 米ドル/LB で落札された。同様に Carlos A. Eraso 氏のコーヒーは大ロット部門で優勝したが、このロットは 92%がカスティージョ種だった。

カスティージョ種の重要性：

カスティージョ種は、FNC の科学部門である国営コーヒー研究センター (CENICAFE) が苦心の末開発した品種である。この品種はサビ病やコーヒーベリーボローラーなどの病気に対する耐性が強く、生産性が高い上、品質特性に優れたコーヒーである。

第一回国内コーヒーコンテスト『多様性のある大地、コロンビア』で証明されたようにカスティージョ種は生産者にとり高収入をもたらす品種になるだろう。

—トピックス（２）—

FNC ホームページからの抜粋記事邦訳です。

コロンビア視察団はブラジル訪問を成功裏に終えた。

ガシュペ、ミナスジェライス 10 月 31 日（FNC 広報）

FNC 総裁の Roberto Velez 氏を団長とするコロンビア使節団はブラジルへの一週間の訪問を重要な結果を携え終えた。

一行は、ブラジルの主要コーヒー産地を視察するとともに、地方政府高官やブラジル主要コーヒー輸出業者、農機具メーカー代表と面談した。

最初に会ったのは農業副大臣の Francisco de Assis da Silva Lopes 氏だが同氏は農業省及びその他政府団体の要職を占める仁である。彼との面談が世界の 2 大コーヒー生産国、ブラジルとコロンビアの知識交流及び共同プロジェクトの可能性の扉を再開することとなった。

ブラジルコーヒー生産地域の干ばつの影響

一行はブラジル南部のバイア州、ミナスジェライス州、サンパウロ州、エスピリトサント州を含むブラジルの主要コーヒー生産地を訪問した。訪問先では干ばつの様々な影響を与える問題などについても議論した。

エスピリトサント州のコーヒー農家や技術アシスタントからは干ばつが同地に及ぼした深刻な影響について聴取できた。即ち過去 3 年間にわたり、干ばつがエスピリトサント州を襲いロブスタコーヒーの生産量が 45%～55%減産したとのことだった。

しかし、バイア州などでは干ばつの影響はそれ程ではないようだった。一行は数か所のコーヒー農園を視察したが、ロブスタコーヒーの成長は移植から収穫まで農園によりかなり幅があることが解った。バイア州の生産者によると干ばつではあったが、生産性は灌漑設備のお陰で高い状態であるとのことだった。

小規模コーヒー生産者の農業機械の使用

ミナスジェライス州では、緩やかな傾斜地で小規模農家が先進的な農業機械を使用しているのを見ることが出来た。即ちオートバイを原付三輪車にしたもので、これを使い化学肥料、堆肥、石灰などの散布をし、雑草取り、農薬噴霧等、様々な作業を行っていた。原付三輪車を利用するのはこの地区の労働力不足を解消し生産性を上げるためである。ミナスジェライス州のコーヒー生産者によるとこれらの農機具を利用することで地域の労働費用を 50%削減できるとのことである。

コロンビア視察団はブラジル最大のコーヒー農協を訪問

コロンビア視察団と Carlos Alberto Paulino da Costa 社長を筆頭とする Cooxupe 農協のリーダーとの会議では、共同事業の可能性、スペシャルティーコーヒー、コーヒー政策、活発なブラジルコーヒー産業の現状などについて話し合った。工場訪問の際には、彼らの倉庫で使用している‘特製の大袋’（在庫能力向上の目的で利用）に付いての説明を受け、脱

穀、選別、バルクサイロ、新焙煎設備や包装設備も視察できた。

会議中、学術的な講義が二つ催された。最初が、ミナスジェライス州内の異なったコーヒー生産地域間でのコーヒー生産コストの比較分析についてだった。ここでは、コーヒーの生産性やヘクタール当たりの生産コストについて紹介された。2 番目の講義では、FNC の主席技術官、Hernando Duque 氏が FNC の技術分野及び歴史について話した。彼はまたコロンビアのコーヒー生産の現状及び利益を向上させるための戦略的行動プランについても紹介した。

農業機器生産の先駆的会社への訪問

サンパウロ州ではコロンビア視察団は、Jacto 社及び Brudden 社を訪問した。Jacto 社は最大手のスプレー機器メーカー（農産物生産者の規模に合わせた幅広いスプレー能力を備えたメーカー）である。一方、Brudden 社は特に小規模農家が傾斜地での収穫の際にコーヒーを運ぶ機能を備えた機械の開発では 2002 年以降パイオニア的存在である。現在 CENICAFE はこの機械をコロンビア国内で試験的に使用している。

訪問中、コロンビア視察団は Brudden 社のエンジニアに対しいくつかのデザインや機能に関する要求をしたが、前向きに検討するとの回答があった。最後にベラクルス州の Recreio 農園を訪問したが、そこではコーヒーの新品種テストや Brudden 社のコーヒーの運搬機が実際に使用されているところを見ることができた。

最後に FNC 総裁は、コロンビア生産地域に於いてコーヒーの収穫やその他の農作業を効率的に行うためには、ブラジルと新技術開発に関する戦略的提携を行うことが重要だと述べた。

以上

ー トピックス (3) ー

2016 年 10 月 5 日～7 日の間リスボン（ポルトガル）で開かれた EU 高齢者医療協会年次総会（European Union Geriatric Medicine Society Congress）で高齢化に伴う認知機能に与える食物の影響について議論されましたが、コーヒー科学情報研究所（ISIC : Institute for Scientific Information on Coffee）はシンポジウムに於いてこれに関するレポートを発表しましたので簡単なサマリーをお届けします（11 月 29 日付全米コーヒー協会（NCA）ホームページにリンクされた記事を邦訳したものです）。

『コーヒーには認知機能低下を抑制する働きがある』と内容の報告があった

『コーヒーと健康』に関する科学研究及び発表を使命とする NPO 組織 ISIC は、高齢

化に伴う認知機能の低下リスクをコーヒーにより軽減できると報告した。レポートによるとコーヒーを一日 3～5 杯飲むことで高齢化に伴う認知機能低下を予防できるのみならずアルツハイマーやパーキンソン病などの神経退行性疾病の予防もできる可能性があるとのことである。

レポートはリスボンで開催された 2016 年度 EU 高齢者医療協会年次総会中に I S I C シンポジウムに於いて『コーヒーと高齢化に伴う認知機能の低下』のタイトルで紹介されたものである。2030 年には 60 歳以上の人口が 217.2 百万人に膨れ上がることが予想されている EU の状況を考えるとこの発見は実証的な価値のあるものである、なぜなら高齢化に伴う認知機能低下を抑制できる食事や生活スタイルを理解し実践することでこれら増え続ける高齢人口層の生活の質（QOL）が改善されることになるからである。

レポート作成の基礎となる研究発表を行った ISIC 公開討論会スピーカーは次の通り：

- ・ Lisette de Groot： Wargeningen 大学、栄養学部・高齢化栄養室教授、オランダ
- ・ Rodrigo A. Cunha： Coimbra 大学、医学部教授、神経科学・細胞研究センター主任研究員、ポルトガル
- ・ Elisabet Rothenberg： Kristianstad 大学栄養学部准教授、スウェーデン

レポートの重要なポイント

- ・ 適度なコーヒー飲用はアルツハイマー病進行リスクを最大 27%まで軽減することが出来る。アルツハイマー病のリスクを軽減するには毎日、長期間コーヒーを飲み続けることが重要である。
- ・ 最近のメタ分析によるとコーヒー飲用量と認知機能の関係は U カーブで示すことが出来、一日当たり 3～5 杯が最も予防効果が高い。
- ・ コーヒー飲用と認知機能低下予防の背景にどのような関係があるか、そのメカニズムはよく解らないがカフェインが関係しているものと思われる。コーヒーにはカフェイン以外にも、抗酸化物質や抗炎症物質なども含まれておりそれ等も関係していると思われる。例えばカフェ酸はコーヒーに含まれるポリフェノール（抗酸化物質）であり、これらが認知機能改善に関係していると報告書には書かれている。

ポルトガルの Coimbra 大学（C N C）医学部教授及び神経科学・細胞研究センター主任研究員の Rodrigo A. Cunha 氏は次のようにコメントしている：

『健康管理の専門家は、患者に対し健康な食生活及び生活スタイルを続けるために研究に裏打ちされた正確な情報を伝えることが出来れば、結果として高齢化に伴う認知

機能低下のリスクを予防するために重要な役割を果たせるだろう。何故なら健康生活を困難にし、EU全土に亘る医療費を増やすことになる認知機能低下を抑制するためにコーヒーは重要な役割を果たすことが出来るからである。』

カフェインの安全性に関して欧州食品安全機関 (European Food Safety Authority) は、全ソースからのカフェイン摂取量は健康な成人で一日当たり 400 グラム (一日あたりコーヒー5杯と同等) であれば全く問題ないとしている。コーヒー一杯には概ね 75～100mg のカフェインが含まれている。

ISICについて

コーヒー科学情報研究所 (ISIC) は 1990 年に設立された NPO (Not for profit organization) であり、『コーヒーと健康』の科学的研究及び発表を使命としている。ISIC は 2013 年以降全ヨーロッパで、9 か国のコーヒー協会と協力しながら健康管理専門家に『コーヒーと健康』に関する最近の科学情報を伝えるなどの教育プログラムも支援している。

ISICのアクティビティーには次のようなものがある。

- ・『コーヒーと健康』の科学的事項の研究
- ・『コーヒーと健康』の研究及び情報の収集及び評価
- ・『コーヒーと健康』の個別研究の支援
- ・幅広いステークホルダーに対する『コーヒーと健康』に関するバランスのある科学的証拠及び知識の広報

ISIC は全ての活動に於いて科学研究倫理を尊重する。ISIC の発表は公正な科学情報に基づいており確かな科学情報誌やその他出版物に掲載されている科学的研究や証拠に依拠している。ISIC は次の欧州コーヒー会社 6 社の会員で構成されている : illycafe, Jacobs Douwe Egberts, Lavazza, Nestle, Paulig, Tchibo。

以上